

赤池弘次氏の成果解説

ベイジアンモデリング
による実世界イノベ
ーション

統計数理は隠さ
れた未来をあら
わにする

樋口知之監修・著

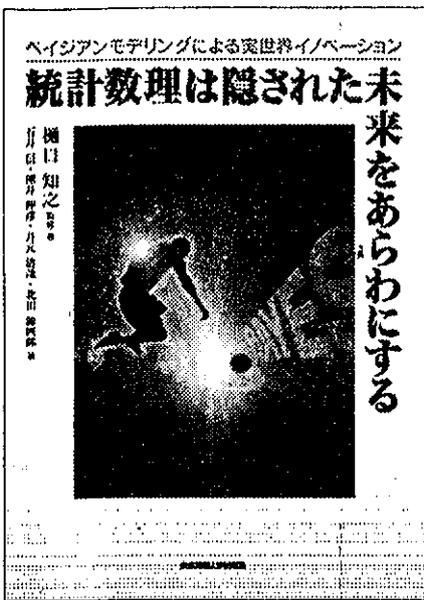
インターネットに代表さ
れるICT革命により、人
間が関わるあらゆるシステ
ムが大きく変容しつつあ
る。この変容によって、人
類は大きな可能性を享受す
る一方、これまで経験しな
かった様々な社会的問題に

直面しているのもまた事実
である。

この問題解決において
は、複雑なシステムが不断
に生み出す大量のデータの
解析処理およびそこから
有用な情報の自動的な抽

出、つまり計算機による知
識の獲得が重要な課題であ
ることは間違いない。

それでは、研究の最前線
ではこの課題にどのような
取り組みをしているのか？そ
れにこたえるのが本書の目



的である。

本書は、赤池弘次・統計
数理研究所元所長の第22回
京都賞受賞を記念したシン
ポジウム「ベイズモデルに
よる実世界イノベーション」
の講演をもとに、赤池
氏の数多くの業績の一つで
あるベイズモデルの研究領
域について、最新の研究成
果をわかりやすく解説し
た。研究者や学生はもとよ
り、実務の現場で統計数理
の活用を考えている読者に
有用な一冊となっている。
(A5判156頁、233
10円入税込み)東京電機
大学出版局刊 電話03-
5280-3433